

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナーネットワークの強化推進		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・ 国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
10月30日「世界のウチナーンチュの日」を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させる様々な取組を実施する。	県	「第7回世界のウチナーンチュ大会」開催	沖縄の移民の歴史や世界に広がるウチナーネットワークについて学ぶ出前講座の実施	
		国内外大会参加者数(オンラインを含む)	出前講座受講者数(累計)	
		8,000人	500人	500人(1,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	-

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

世界のウチナーネットワーク強化推進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

290, 592

39, 275

令和5年度活動内容

世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座、次世代討論会を実施した。

予算事業名

世界のウチナーネットワーク強化推進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

35, 115

令和6年度活動計画

世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座等実施する。

活動指標名

国内外大会参加者数（オンラインを含む）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

1, 741人

2, 113人

1, 349人

500人

100. 0%

小学校、中学校、高校等において出前講座を20件実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

他の事業とも連携をすることで目標件数を達成することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○海外県人会とオンラインでつなぎ、リアルタイムに近い形で県民とウチナーンチュの日の交流ができるよう取り組む。

○沖縄文化芸能指導者によるオンライン指導、オンラインによる次世代討論会などオンラインを活用した交流を実施した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	他の事業との連携を強化し、世界のウチナーンチュと沖縄のウチナーンチュが繋がる機会を増やす必要がある。	⑧ その他	ほかの事業との連携を強化し、世界のウチナーンチュと沖縄のウチナーンチュが繋がる機会を増やす取り組みを行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナージュニアスタディー事業		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系人子弟を沖縄県に招待し、県内外の生徒と沖縄の自然や文化、歴史などの交流体験プログラムを実施することで、将来のウチナーネットワークの構築を図る。	県	県内に国内・海外県系人子弟を招待し、交流事業の継続実施		
		交流人数(累計)		
		33人	33人(66人)	33人(99人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	ウチナージュニアスタディー事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	11,477	12,348
令和5年度活動内容			
海外県系人子弟（中学・高校生）11名、県内の中学・高校生17名、県外高校生1名参加のもと実施した。			

(単位：千円)

予算事業名	ウチナージュニアスタディー事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	14,708	
令和6年度活動計画			
海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施する。			

活動指標名	交流人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	32人	33人	29人（62人）	33人（66人）	87.9%	概ね順調	海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナが明け、対面実施を再開し、従来実施と同規模の交流、すなわち沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを継続的に実施することができたことから順調に進捗しているものとする。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 対面型で実施することにより、本事業の更なる魅力を周知する。	対面型の交流になったことで、より深い交流が可能となった。また、交流後のSNSの活用などにより、持続的なネットワーク構築が実現してきている。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	対面型で実施することにより、本事業のさらなる魅力を周知することができた。	⑧ その他	昨年度から対面実施が再開し、今後は、社会情勢に応じて、対面とオンラインのハイブリットを活用することにより、より効果的な事業を進めていく。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	国内外の県人会との連携		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県人会式典等の参加、関係機関の訪問・交流を行い、世界のウチナーネットワーク継承や次世代の担い手の育成に取り組む。	県	国内外県人会式典等への参加や県人会との情報交換を通じたネットワークの形成		
		式典等への県の参加件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

海外移住記念事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

直接実施

2,319

8,900

令和5年度活動内容

日本・ハワイ姉妹州・姉妹都市サミットへの参加。

予算事業名

海外移住記念事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

8,000

令和6年度活動計画

ボリビア周年記念イベントへの参加。
国内県人会イベントへの参加。

活動指標名

式典等への県の参加件数（累計）

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

進捗状況

活動概要

実績値

—

0件

実績値(A)

6件（6件）

目標値(B)

2件（4件）

達成割合
A/B

100.0%

順調

南米、アジア、北米キャラバンの実施、国内外周年記念事業への参加

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

南米、アジア、北米キャラバンの実施、国内外周年記念事業への参加を通して、国内及び海外県人会と母県沖縄のつながりを再確認するとともに、ウチナーネットワークの強化が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

○ 対面交流が再開されることを想定し、従前の交流再開に向けて取り組んでいく。

反映状況

南米、アジア、北米キャラバンの実施、国内外周年記念事業への参加を通して、国内及び海外県人会と母県沖縄のつながりを再確認するとともに、ウチナーネットワークの強化が図られた。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	対面交流が再開し、従前の交流が可能となった。	⑧ その他	各国の入植、県人会設立周年式典などの節目の年を捉えて県三役など、県関係者が当該国を訪問し、母県沖縄と海外県人会とのつながりを強化する。県人会など各団体の取り組みを促進する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（育成人材等を対象とする相互交流）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	県系子弟等留学事業OB・OG等を対象とするオンライン等を活用した相互交流		
		参加者数(累計)と参加国・地域数		
		200人、6カ国・地域	200人(400人)、6カ国・地域	200人(600人)、6カ国・地域
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ				予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	
県単等	委託	55,676	71,392		県単等	委託	83,462
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者同士の交流、県内と国内の若者同士の交流等を実施した。					ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者同士の交流、県内と国内の若者同士の交流等を実施する。		

活動指標名	参加者数（累計）と参加国・地域数		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	542人	24,000人以上	3,000人以上 (27,000人以上)	200人（400人）	100.0%	順調	
活動指標名	参加者数（累計）と参加国・地域数		R5年度				
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	6ヶ国以上	6ヶ国以上	6ヶ国以上	6ヵ国・地域	100.0%		
ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。歴史・平和研修やスポーツ、イベント等を通じた交流事業を実施した。							

ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。歴史・平和研修やスポーツ、イベント等を通じた交流事業を実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
来場者が多いJICAのイベントに出展する等、交流機会を増やしたところ、6ヶ国以上・3,000人以上と交流することができたため、順調と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	○ 対面だけでなく、オンラインも積極的に活用したことで、安定的なウチナーネットワークの連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。	⑧ その他	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、引き続き、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークの多言語情報発信）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等での情報発信。	県	WEB・SNS等によるウチナーネットワークの多言語情報発信		
		多言語情報の発信数(累計)		
		50件	50件(100件)	50件(150件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ				予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	55,676	71,392		県単等	委託	83,467
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等で 情報発信した。					「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等で 情報発信する。		
活動指標名	多言語情報の発信数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営 し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の 多言語で情報発信した。
	108件	43件	154件（197件）	50件（100件）	100.0%	順調	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
育成人材等の相互交流に関する情報を適宜発信した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
他の機関が実施するイベントなども幅広く掲載し、アクセス数の増に取り組む。	他機関の世界のウチナーンチュと関連するイベント情報を、幅広く多言語で掲載、情報発信に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「世界のウチナーネットワーク」サイトの認知度向上およびサイトアクセス数を高める取組が必要である。	⑧ その他	他機関の世界のウチナーンチュと関連するイベント情報を、可能な限り多言語で幅広く掲載するとともに、更新頻度を高めることでアクセス数の増に努める。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との交流等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（海外県系人子弟留学生の受入）		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・ 本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外県系子弟等留学生を受け入れ、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外県系人子弟等の県内大学等への留学受入れによる、県民との交流や生活を通じた文化・歴史等の学習		
		受入人数（累計）		
		10人	10人（20人）	10人（30人）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ				予算事業名	次世代沖縄ネットワーク育成事業※本事業は細事業の一つ		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	55,676	71,392		県単等	委託	83,467	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
ウチナーンチュ等子弟留学生を10名受け入れ、県内大学や研修機関に留学させた。					ウチナーンチュ等子弟留学生を10名受け入れ、県内大学や研修機関に留学させる。			
活動指標名	受入人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。オンラインも含めた交流事業を実施した。	
	2人	7人	10人（17人）	10人（20人）	100.0%	順調		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、各国・地域からの留学生受入人数の目標を達成した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	○ 留学生と県内外の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。	⑧ その他	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との交流等
主な取組	海邦養秀ネットワーク構築事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・ 本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県の若い世代を海外に派遣し、国際感覚に富む人材を育成するとともに、現地の県系人、特に若い世代との交流を通して相互の絆の強化に努める。	県	県内学生を海外県人会宅に派遣し、ホームステイ等を通じた交流事業を実施		
		派遣人数(累計)		
		21人	10人(31人)	10人(41人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

次世代ウチナーネットワーク育成事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

3,500

0

令和5年度活動内容

県単補助金の見直し（終期到来）のため、予算計上なし

予算事業名

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和6年度活動計画

活動指標名

派遣人数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

25人

20人

0人 (21人)

10人 (31人)

0.0%

未着手

これまで、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。コロナ禍においては、オンラインによる交流事業を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

事業終期の到来により、R5は未実施となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

コロナ禍で制限された対面形式での交流を実施するほか、ニーズを踏まえ、長期ステイプログラムの創設を目指して予算要求を行った。

予算調整により、事業化は困難となった。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県単補助金の見直し対象として、令和4年度の終期をもって廃止となった。本取り組みの再開に向けて、その事業効果や必要性を検討する。（他事業とのデマケや事業スキームの再構築を図る。）	① 執行体制の改善	次世代ウチナーネットワークの育成に必要であり、本県と海外の相互交流としてニーズは高い。関係者の意見等を踏まえ、より効果的かつ持続的な事業スキームの構築のために、ソフト交付金の活用を検討する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	在住外国人の生活支援		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
外国人が地域住民として直面する諸課題に関し、専門的な助言、相談が出来る窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	外国人が地域住民として直面する諸課題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施		
		法律・生活相談対応件数(累計)		
		70件	70件(140件)	70件(210件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	https://kokusai.oihf.or.jp/project/soudan

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	補助	18,747	18,856	
令和5年度活動内容				
多言語による生活・法律相談を実施した。				

予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	21,127	
令和6年度活動計画			
多言語による生活・法律相談を実施する。			

活動指標名	法律・生活相談対応件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	266件	220件	328件（548件）	70件（140件）	100.0%	順調	多言語による生活・法律相談を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値を上回る相談件数があったことは評価出来る。一方、相談件数が多いということは在住外国人の直面する課題が多いともいえる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
在住外国人の法律・生活相談で把握したニーズにきめ細かに対応できるよう情報収集や情報提供に努める。	在住外国人の多岐、多様な法律・生活相談にきめ細かに対応した。 ウクライナ避難民の相談窓口として対応した。

- 23 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	在住外国人の法律・生活相談で対応した事案について、出身地域や、内容を類型化して集計し、ニーズを把握する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	外国人相談窓口における対応事案を集計し、ニーズの把握に努める。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	リーガル・ライフサポーターの養成		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
在住外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」を育成する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」の育成		
		リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		10名	10名(20名)	10名(30名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	https://kokusai.oihf.or.jp/

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
		県単等	補助	
令和5年度活動内容				
リーガル・ライフサポーター養成講座を開催した。 リーガル・ライフサポーター認定テストを実施した。				

(単位：千円)			
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	21,127	
令和6年度活動計画			
リーガル・ライフサポーター養成講座を開催する。 リーガル・ライフサポーター認定テストを実施する。			

活動指標名	リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	40名	8名	30名（38名）	10名（20名）	100.0%	順調	リーガル・ライフサポーター養成講座を開催した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
リーガル・ライフサポーター養成講座の修了者を対象に多言語で認定テストを実施し、合格者が3名でたことは評価出来る。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
在住外国人の法律・生活相談で把握したニーズに対応出来る専門的通訳者の養成に努める。	「法律・生活相談」の専門的通訳者を希望しそのスキルのある人材は限られているが、必要な人材を着実に養成している。



3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	在住外国人の法律・生活相談で対応した事案について、出身地域や、内容を類型化して集計し、ニーズを把握する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	外国人相談窓口における対応事案を集計し、ニーズの把握に努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	災害時外国人支援サポーターの養成		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成		
		災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		30名	30名(60名)	30名(90名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	https://kokusai.oihf.or.jp/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金				予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	補助	18,747	18,856		県単等	補助	21,127		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
災害時外国人支援サポーター養成講座を開催した。					災害時外国人支援サポーター養成講座を開催する。				

活動指標名	災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	28名	43名	30名（73名）	30名（60名）	100.0%	順調	災害時外国人支援サポーター養成講座を沖縄本島、宮古島で開催した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
R5年度末時点での災害時外国人支援サポーターの登録者数は212名となり評価できる。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
全国で大規模な災害が頻発する中で県民の防災意識は高まっているが、災害時の在住外国人、海外旅客への対応について県民の防災意識が高まっているとは言えない。災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等の開催により県民の防災意識の啓発に努める。	「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指し、財団と県や各関係機関等で情報共有を行い、各種イベントや広報媒体等を用いて県民の防災意識の啓発を行った。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	全国で大規模な災害が頻発する中で県民の防災意識は高まっているが、災害時の在住外国人、海外旅客への対応について県民の防災意識が高まっているとは言えない。	⑥ 変化に対応した取組の改善	災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等の開催により県民の防災意識の啓発に努める。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	多文化共生社会に向けた県民向けの取組		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施。	県	多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施		
		シンポジウム・ワークショップ等の開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

多文化共生推進調査事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

直接実施

189

6, 397

令和5年度活動内容

県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進した。

(単位：千円)

予算事業名

多文化共生推進調査事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

6, 185

令和6年度活動計画

沖縄県民および県内在住外国人がお互いに安心して生活できる環境づくりを行うため、万国津梁会議を開催し、多文化共生社会の地域づくりを推進する。

活動指標名

シンポジウム・ワークショップ等の開催数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進した。

2回

2回

2回（4回）

2回（4回）

100.0%

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県多文化共生事業においてモデル地域となった市町村および、多文化共生の取り組みを実施している市町村に対し、シンポジウムの開催を行った。また、在住外国人を支援している団体に対し、ワークショップ形式のヒアリング調査を行うことで、実態の把握に努め、多文化共生社会の地域づくりを推進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、引き続き市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進する。

令和5年度に実態調査を行うことによって、今後の多文化共生社会の地域づくりを推進するための体制が整備された。

- 32 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年10月に水際対策が大幅に緩和されて以降、航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで、外国人入国者は増加傾向にある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、引き続き市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	おきなわ国際協力・交流フェスティバルとの連携		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
JICAおきなわ国際協力・交流フェスティバルへのブース展示、県事業紹介。	県,市町村,JICA沖縄,沖縄県国際交流・人材育成財団	JICA沖縄及び関係団体と連携した、フェスティバルへの参加、広報等への協力		
		フェスティバルの共催承認、イベント等への参加		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	-		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
—	—		
令和5年度活動内容			
フェスティバルへの県の共催の実施及びポスター設置等による各種広報を行った。			

予算事業名	-		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		
令和6年度活動計画			
フェスティバルへの県の共催を実施し、ポスター設置等による各種広報を行う。開催が11月下旬の予定のため、9月を目処に広報計画を立て実施する。			

活動指標名	フェスティバルの共催承認、イベント等への参加		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	JICAおきなわ国際協力フェスティバルで、沖縄県交流推進課の行う交流事業のPRを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国際交流員による出身国紹介ブース、ウチナージュニアスタディー事業、おきなわ国際協力人材育成事業の紹介ブース、県費留学生によるクイズのコーナーを設け、県が行う交流事業を広く参加者に周知した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
JICA沖縄との更なる連携による広報手法・時期等の検証、実施を進めていく。広報メッセージについても来場者から特に関心の高かったイベントを大きく取り上げる等、工夫していく。	JICA沖縄との更なる連携による広報手法・時期等の検証、実施を進めた。広報メッセージについても来場者から特に関心の高かったイベントを大きく取り上げる等の工夫を行った。

- 35 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和5年度のフェスティバルは、コロナ禍以前と同様の会場型開催となった。来場者増加のためにも常に効果的な広報を検証し実施する必要がある。	⑧ その他	JICA沖縄との更なる連携による広報手法・時期等の検証、実施を進めていく。広報メッセージについても来場者から特に関心の高かったイベントを大きく取り上げる等工夫していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	国際交流員による異文化理解促進		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内小学校・中学校・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業・出前講座を実施する。	県,自治体国際化協会 沖縄県支部	県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業・出前講座等の実施		
		学校訪問の実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名 外国青年招致事業				予算事業名 外国青年招致事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	41,765	45,423	県単等	直接実施	47,423	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
令和5年度も引き続き、県内学校からの派遣要請等に応じ、国際交流員による出前授業を行った。				令和6年度も引き続き、県内学校からの派遣要請等に応じ、国際交流員による出前授業を行う。			

活動指標名	学校訪問の実施回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	13回	19回	18回（37回）	10回（20回）	100.0%	順調	県内中学校・高校で国際協力に関する出前授業を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
目標である10校を上回り、18校での出前授業を実施することができたため、順調と判定した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
出前授業の実施後に振り返りを行い、学校それぞれに適切な授業内容となるよう改善を行っていく。				学校に合わせてそれぞれ適切な授業内容となるよう工夫した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	各学校に合わせた授業の内容となるよう改善を図ることが課題になっている。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	各学校のニーズを事前に把握し、学校のニーズに合うよう出前授業を工夫する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施 策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○在住外国人の日本語による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進
主な取組	外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化等について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県国際交流・人材育成財団が主催する日本語弁論大会での審査員、広報等へ協力する。	県、沖縄県国際交流・人材育成財団	沖縄県国際交流・人材育成財団が主催する、日本語弁論大会での審査員、広報等への協力		
		日本語弁論大会の共催承認、県知事賞(賞状)の授与、審査員での参加等		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	https://kokusai.oihf.or.jp/

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県内に在住する外国人へ国際交流・国際親善や日本・沖縄の社会や文化について日本語で発表する機会を提供し、相互理解の増進と友好親善を促進したことは評価できる。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
—	メディアでも報道され県民の理解も深まっている。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	在住外国人の多様化に対応した外国語に親しむ機会の創出が求められている。改善余地があるか検証したい。	⑧ その他	沖縄県国際交流・人材育成財団と協力しながら、今後も外国語に親しむ機会の創出に努める。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	各市場での誘客プロモーションの展開		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
欧米やシンガポール、タイ、マレーシアなどの東南アジア、台湾、中国本土、韓国、香港から外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	航空路線拡充の支援、Be.Okinawaブランディング、各市場でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		14箇所	14箇所	14箇所
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	沖縄観光グローバル事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 (ソフト)	委託	373,799	643,185	
令和5年度活動内容				
15箇所の地域でプロモーションを実施した。				

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	550,134	
令和6年度活動計画			
14箇所の地域において、プロモーションを実施する。			

活動指標名	プロモーション実施地域数		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	14箇所	15箇所	15箇所	14箇所	100.0%	順調	海外11市場において、旅行博・現地イベント、商談会、旅行会社・メディア招聘、航空会社および旅行会社タイアッププロモーションを市場プロモーション等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者および沖縄県海外事務所、沖縄観光レップ（英、仏、独、豪）と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外観光客誘客プロモーション活動を実施した。令和5年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は10路線18社運航となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復につなげる必要がある。 ○ 県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者と共同出展を呼びかけ官民一体となった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。	○ 那覇空港国際線の再開および路線回復により、令和5年暦年の外国人入域観光客数は98万6600人となった。 ○ 令和5年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は10路線18社運航となった。

- 44 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新規の航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。	② 連携の強化・改善	県内観光施設や事業者とともに誘客プロモーションにおける連携を進め、沖縄へのインバウンド誘客拡大を推進する。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	訪日旅行需要の高まりにより、国内外の観光地においてインバウンド誘客の競争が激しくなっている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	航空会社や旅行会社に対するプロモーションを強化し、新たな需要の創出と国際航空路線の増加に繋げる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	MICE誘致の実施（コンベンション）		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内大学等と連携し、国内学会や国際会議の誘致・開催支援を行う。	県,OCVB	国際会議の誘致		
		国際会議件数(累計)		
		3件	12件(15件)	26件(41件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	https://www.ocvb.or.jp/support/category:9

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	205, 446	198, 303	
令和5年度活動内容				
県内・県外大学などローカルホストへのサポート等も実施の うえ、国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや開催歓迎 等の支援を実施した。				

(単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	191, 524	
令和6年度活動計画			
県内・県外大学などローカルホストへのサポート等も実施の うえ、引き続き国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや 開催歓迎等の支援を実施する。			

活動指標名	国際会議件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	4件	9件（13件）	4件（17件）	12件（15件）	33. 3%	大幅遅れ	
大学などローカルホストへのサポート、学会、 FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展等 を行った。							

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
コンベンション主催者に対してMICE貸切バス等運行支援を36件、コンベンション開催支援17件実施した他、旅行者、PCO、MICE関連団体、大学教授等キーパーソンに対して、直接訪問に加え、オンラインコミュニケーションツールを活用して営業活動を行った。コロナ禍の影響が長引いており目標に届かなかったものの、国際線が少しずつ復便しているところでもあり、復便した地域を中心に営業を進めていく。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○学会のオンラインニーズへの対応として、直近は民間宿泊施設等と協力のうえ、官民で補完して対応していく。その後は、予定している大型MICE施設へ必要な通信設備を備えることを検討していく。	○オンラインニーズについてヒアリング等を行ったところ、特に行政による支援が必要な事項がないことがわかった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	学会は大学教授が主催・サポートすることが多く、大学の協力を得てポスティングによる周知を行ったところ、新規案件獲得につながったことから、今後は営業活動を強化する必要がある。	⑧ その他	国内外の学会主催者、PCO等への営業強化を目指し、大学等への定期的な訪問を行う。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	教育旅行シーズンにおいて貸切バスの確保が困難となる事例が増えている。	② 連携の強化・改善	バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入市町村と連携し、スポーツキーパーソンの招聘や合宿実証に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

57,599

50,838

令和5年度活動内容

スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘3件およびスポーツ団体合宿実証13件を行った。

予算事業名

スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

60,152

令和6年度活動計画

スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘6件およびスポーツ団体合宿実証8件を行う。

活動指標名

スポーツ団体合宿実証件数（累計）

R3年度

R4年度

実績値

5件

9件

R5年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題を検証し、合宿受入体制の強化を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

直前で中止となった合宿が2件あったが、順調に実施できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

○ 離島における合宿実施、女性スポーツ、障害者スポーツ、競技人口増が予想されるアーバンスポーツ等の合宿実証を積極的に進め、課題検証を通して誘致拡大を図る。
○ 海外チームの誘致や、医療やウェルネスとも連携したメンタルおよびフィジカルリカバリー等、サポート体制構築による沖縄ならではの強みを活かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成に寄与する。

反映状況

○ 離島における海外チームの合宿実証、女性スポーツおよび障害者スポーツの合宿実証を通して課題を検証し、次年度以降の継続実施に向けた体制強化を図った。
○ アーバンスポーツの合宿誘致や医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築はできなかった。

- 50 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築が進んでいないため、受入市町村や関係機関と課題の検証や条件整理が必要である。	⑧ その他	受入市町村や関係機関との意見交換を重ね、アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○国際的なビジネス展開の取組
主な取組	海外事務所等による活動		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・ 経済交流については、県内企業と海外企業との経済連携サポート支援を強化するとともに、県海外事務所、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）沖縄貿易情報センター等と連携した国際的なビジネス展開に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光誘客の促進や路線の増設・新規路線の拡充並びに観光と連動した県産品の販路拡大、県内企業の進出支援業務等を行う目的で海外事務所及び委託駐在員を設置する。	県	物産展等への出展支援、現地企業等への営業活動、県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等		
		海外事務所等活動件数（累計）		
		2,000件	2,100件（4,100件）	2,200件（6,300件）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	https://okinawa-ric.jp/corpo/kaigai.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

海外事務所等管理運営事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

直接実施

248, 423

237, 434

令和5年度活動内容

物産展や旅行博への出展支援、現地旅行社等への営業活動、
県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等を行う。（一
部オンラインで実施）

予算事業名

海外事務所等管理運営事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

補助

238, 439

令和6年度活動計画

物産展や旅行博への出展支援、現地旅行社等への営業活動、
県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等を行う。

活動指標名

海外事務所等活動件数（累計）

R3年度

R4年度

実績値

2, 077件

3, 021件

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

北京、上海、香港、台湾、シンガポール、ソウ
ルに海外事務所を設置するとともに、東南アジア
を中心に委託駐在員を配置し、情報収集・情報提
供や展示会等への出展支援、県内企業の海外展開
支援などを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

これまでの現地での活動により、①県産品の輸出拡大、②沖縄での立地企業の増、③県内企業の海外展開の促進、④コロナ収束後の国際路線回復、観光客の早期回復のための
プロモーションや関係機関との連携など多方面にわたり取組の効果が現れている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○引き続き関係部局と連携し、次年度に向けて、海外事務所の活動方針のブラッ
シュアップに取り組む。
○新型コロナウイルス感染症からの回復傾向が鮮明になる中、コロナ禍前の交流等
の回復を図るとともに、新たな経済交流の実施を図る。

・ 商工労働部、文化観光スポーツ部、農林水産部等関係部局との連携により、海外事務所
の具体的な活動方針をブラッシュアップした。
・ 新型コロナウイルス感染症からの回復傾向が鮮明になる中、コロナ禍前の交流等の回復
を図るとともに、新たな経済交流を実施した。

- 53 -

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	引き続き、関係部局と連携し、海外事務所活動方針をブラッシュアップし、海外における県産品の販路拡大や観光誘客、国際航空路線の回復等の促進につながる継続した取組が必要である。	② 連携の強化・改善	引き続き、関係部局等と連携し、海外における物産展や旅行博への出展支援、現地旅行社等への営業活動、県内企業の海外展開支援、情報収集や発信等を実施する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	海外友好姉妹都市等からの留学生受入		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外友好姉妹都市等から留学生を受け入れ、県内大学や企業等で就学・研修等の実施		
		海外友好姉妹都市からの留学生受入人数(累計)		
		2人	2人(4人)	2人(6人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ				予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	55,676	71,392		県単等	委託	83,467
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
ウチナーンチュ等子弟留学生を10名（うち、海外友好姉妹都市から3名）程度を受け入れ、県内大学や研修機関で留学させた。					ウチナーンチュ等子弟留学生を10名（うち、海外友好姉妹都市から3名）程度を受け入れ、県内大学や研修機関で留学させる。		
活動指標名	海外友好姉妹都市からの留学生 受入人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。
	2人	1人	3人（4人）	2人（4人）	100.0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
友好姉妹都市であるマツグロツ州、サンタクルス州、福建省から各1名、計3名を受け入れ、目標値を達成した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	○ 留学生と県内外の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。	⑧ その他	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各市町村、関係機関、沖縄県の連絡協議会を年1回以上実施し、各自治体における国際交流事業等について情報共有と意見交換を行う。	県,市町村	海外との交流を促進するため、県と市町村間の情報交換、意見交換の実施		
		沖縄県・市町村国際交流連絡会議の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

世界の沖縄ネットワーク強化推進事業口

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

直接実施

290,592の
一部

41,947の一部

令和5年度活動内容

各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。

予算事業名

世界のウチナーネットワーク強化推進事業口

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

直接実施

35,115

令和6年度活動計画

各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行う。

活動指標名

沖縄県・市町村国際交流連絡会
議の開催回数（累計）

R3年度

R4年度

実績値

0回

1回

R5年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

1回（2回）

1回（2回）

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

オンライン形式で会議を実施した結果、25の市町村（関係機関含め27名）から参加があった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

○ 県及び市町村が取り組んでいる国際交流事業の共有を図り、近隣市町村同士や県及び市町村など広域で取り組める国際交流を考えるなど気軽に参加しやすいテーマを模索する。

反映状況

オンライン形式での実施だったため、活発な意見交換が困難だった。

- 59 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	オンライン形式での実施だったため、活発な意見交換が困難だった。	⑧ その他	県と市町村でより気軽に意見交換ができるよう、対面での実施を検討したい。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・文化は交流により育まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内施設からの要請を受け、伝統芸能団体を派遣する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

27,409

26,050

令和5年度活動内容

事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施した。

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

17,160

令和6年度活動計画

事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施する。

活動指標名

文化体験プログラムの実施回数
(累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

0回

6回

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

大幅遅れ

活動概要

事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

夏場の観光シーズンに向けた事業周知が遅れた他、当初の周知先が少なかったため、観光シーズン中の派遣ができなかった。また、当事業による派遣報酬が低額であったため派遣合意に至らない事態が生じた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○演者同士の繋がりや、派遣時期を早めに調整するなどし、実施回数の目標値を達成できるよう努める。

派遣時期を早めに調整するため、6月から事業周知を開始したが、観光シーズンを加味するとさらに早い時期での周知が必要だった他、当初の周知先が少なかったため、派遣実施が遅れた。

- 62 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	事業の周知時期及び周知先について見直す他、文化団体の派遣報酬額についても検討が必要。	⑦ 取組の時期・対象の改善	事業周知時期を早め、周知先も増加させる。その他、文化団体の派遣報酬額を見直す等により、文化資源を活用したプログラムモデルの構築を目指す。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策の効果的な推進
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（歴史・文化ワークショップ）		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・ 県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
歴史・文化に関するワークショップを実施する。	県,市町村,民間団体	歴史・文化ワークショップ等の実施		
		歴史・文化ワークショップ等への参加者数（累計）		
		60名	60名（120名）	60名（180名）
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	委託	10,155	17,752	
令和5年度活動内容				
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための 広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための 関連事業を実施した。				

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	82,425	
令和6年度活動計画			
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための 広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための 関連事業を実施する。			

活動指標名	歴史・文化ワークショップ等への 参加者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	60名	50名（110名）	60名（120名）	83.3%	概ね順調	市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解 を深めるための関連事業を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

R4年度の歴史・文化ワークショップ等への参加者数の集計方法は子どもと保護者両方を集計していた。R5年度は子どものみ集計したため参加者数が減っている（事業実施後にR4年度と集計方法が違っていることが判明）。ワークショップ等を実施したことにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解が深まった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、ワークショップ等を実施するとともに、情報発信を強化していく。	ワークショップ等を実施し、若い世代の参加が増えた。

- 65 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	R4年度とR5年度のワークショップ参加者数の集計方法の相違により人数が減ってしまったため、R6年度は子どもと保護者の両方を集計する。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続きワークショップ等を実施し参加者数を子どもと保護者の両方を集計する。また、情報発信を強化していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・ 国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
多様で豊かな沖縄文化資源を発信し、観光誘客を図る。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	4,500	4,056	県単等	委託	5,640
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県外における組踊ワークショップの開催及び琉球舞踊等を上演した。				京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。		
活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数 (累計)		R5年度			活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	1公演	1公演	3公演（4公演）	1公演（2公演）	100.0%	県外における組踊ワークショップの開催及び琉球舞踊等を上演した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップにて組踊の歴史解説、楽器・小道具を行った他、琉球舞踊等の上演(来場者2,561人)により沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
OVISIT JAPANトラベル&MICEマートが同時開催される、ツーリズムEXP0会場で、旅行会社バイヤー向け情報発信や、演舞実演で沖縄伝統芸能の魅力を発信する。	ツーリズムEXP0会場で、パンフレットやチラシを封入したクリアファイル(3,000部)を作成・配布し、琉球舞踊等の実演を実施することで、国立劇場おきなわ及び沖縄の伝統芸能をPRすることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外に向けて沖縄伝統芸能の魅力を発信し、観光コンテンツとしての認知度向上が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県外でのワークショップや公演を通して沖縄伝統芸能の魅力を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・ 国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発進力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、世界で活躍できる人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	地域の文化芸術振興事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	委託	4,000	4,000	

令和5年度活動内容

令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施した。

(単位：千円)

予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	8,000	

令和6年度活動計画

令和6年度は、県外公演を2公演予定している。

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0公演	1公演	1公演（2公演）	1公演（2公演）	100.0%	順調	
令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施し、151名が参加した。							

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数県外講演1公演に対し活動実績が1公演となり、達成割合が100%となった。開催地を本県と交流推進協定を締結している長野県とすることで、長野県庁の後援のもと、幅広い広報協力が得られた。また、来場者に対しアンケート調査を実施し、回答者の半数以上が琉球芸能を初めて鑑賞するとのことであったが、9割程度の方から講演内容について高評価をいただいた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。 ○ 昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○ 広報周知を強化した結果、7団体からの応募があった。 ○ 仕様書にて客席数を200席以上とした。 ○ アンケート調査を実施し、回答者の9割程度から講演内容について高評価をいただいた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県人会や琉舞道場の支部等も無い地方都市において、集客に苦慮した。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・ 国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域の文化芸術振興事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

0

14,000

令和5年度活動内容

文化の発信力強化、文化交流の拡大、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を開催し、県内の文化芸術団体を派遣した。

予算事業名

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

令和5年度活動内容

予算事業名

-

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和6年度活動計画

令和6年度は他事業に統合した。

予算事業名

琉球歴史文化芸術興隆事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

43,573

令和6年度活動計画

海外において沖縄の文化芸能に係るイベントを開催する。

活動指標名

文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

0公演

0公演

2公演

1 公演

100.0%

順調

令和5年度は海外公演としてワシントンDCで創作劇を2公演実施し、208名を集客した。

- 74 -

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数、海外講演1公演に対し活動実績が2公演となり、達成割合が100%となった。開催地をワシントンDCとしたことで、沖縄県ワシントンDC事務所の協力の下、各国の大使館や行政関係者などへの広報活動や公演への招待等の協力が得られたことで集客につながった。また、公演前に、現地の大学の学生や教員とのオンライン文化交流会を開催したことで、沖縄文化への理解を深めることができた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。 ○ 事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○公募の開始時期、広報周知を強化した結果、5団体からの応募があった。 ○アンケート調査を実施し、観客の年齢層、広報の方法等について分析することができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	急激な円安にともなう旅費の増加や現地スタッフの人件費の高騰等により予算が圧迫し、広報面で不十分となった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球芸能の認知度が低い中で、集客に苦慮した。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。